

富山高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	環日本海諸国語演習Ⅱ(ロシア語)	
科目基礎情報							
科目番号	0095			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	演習			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	国際ビジネス学科			対象学年	3		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材							
担当教員	宮崎 衣澄						
到達目標							
ロシア語基礎文法の定着をはかる。 ロシア語基礎文法を学習し、会話や読解を通して表現力を身に着ける。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	名詞、形容詞の格変化を理解し、正しく使うことができる。			名詞、形容詞の格変化を理解し、間違いはあるもののおよそ使うことができる。		名詞、形容詞の格変化を理解できていない。	
評価項目2	平易なロシア語で書かれた文章を、辞書を使用して読んで理解することができる。			平易なロシア語で書かれた文章を、辞書を使っておよそ読んで理解することができる。		平易なロシア語で書かれた文章を、辞書を使用しても理解できない。	
評価項目3	平易なロシア語日常会話を理解し、話すことができる。			平易なロシア語日常会話を、およそ理解し、話すことができる。		平易なロシア語日常会話を理解すること、話すことができない。	
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー 1							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法		教員単独、講義及び演習					
注意点		評価が60点に満たない者はは、願い出により追認試験を受験することができる。追認試験の結果、単位の修得が認められたものにあつては、その評価を60点とする。評価方法及び評価基準は本試験と同じとする。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	第二課		対格の用法を学ぶ		
		2週	第二課		長文「私の好きなもの」を学ぶ		
		3週	第二課		長文「ガガーリンの孫」を学ぶ		
		4週	第二課		関係代名詞の用法を学ぶ		
		5週	第二課		長文「朝食」を学ぶ		
		6週	第三課		生格の用法を学ぶ		
		7週	第三課		生格の用法を学ぶ		
		8週	中間試験		既習の事項が理解できているか確認する		
	4thQ	9週	試験返却 第三課		数詞と生格について学ぶ		
		10週	第三課		数詞と生格について学ぶ		
		11週	第三課		願望の表現を学ぶ		
		12週	第三課		関係代名詞 目的の表現を学ぶ		
		13週	第三課		長文「私に電話して」を学ぶ		
		14週	第三課		既習事項の復習をする		
		15週	期末試験		既習事項が理解できているか確認する		
		16週	成績確認		成績確認を行う		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	小テスト	合計
総合評価割合	70	0	0	0	0	30	100
基礎的能力	25	0	0	0	0	10	35
専門的能力	25	0	0	0	0	10	35
分野横断的能力	20	0	0	0	0	10	30